

様式 1

県立茨城東高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- 「友」とともに。「先生」とともに。「地域」とともに。さあ！新たな一歩を踏み出そう！
- ・自分の発想やアイデアを大切に、何にでもチャレンジする姿勢を育成する。
  - ・学校生活を通じて、集団活動の良さを理解し、思いやりの心を持った良い人間関係を育成する。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの夢・希望を持ち続け、自己の可能性を切り拓く力</li> <li>・基本的生活習慣の確立及び基礎学力の向上を通じて、希望進路の実現を目指す力</li> <li>・感謝の気持ちを持ち、お互いを認め合い尊重することのできる集団づくりを実践する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究テーマを自ら設定し、主体的に探究活動を進めることができる。</li> <li>・探究活動で得た知識・技能を、日常生活や社会貢献につなげることができる。</li> <li>・道徳的な学びを通して、規範意識を高めるとともに、相手を思いやる行動がとれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任による丁寧な個人面談</li> <li>・年次団、校務分掌等、校内チーム内の意識の共有</li> <li>・SC、SSW、児童相談所等の外部諸機関との連携</li> </ul>

各学年における主な取組内容

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	日本文化の再発見と交流の実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツの生徒に紹介する自国の食・伝統・現代文化の探究。</li> <li>・留学生の受け入れや日本文化体験ワークショップの企画・実施。</li> <li>・交流で得た「文化や価値観の違い」の言語化と発表。</li> </ul>	地域の観光ボランティアガイド、国際交流協会、ドイツ文化センター等	多様な価値観に触れ、未知の文化に対して物怖じせず、主体的にコミュニケーションを図ろうとする生徒
2年	日独共通の社会課題探究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境・エネルギー等、両国共通の課題（SDGs）を比較。</li> <li>・ドイツの生徒との議論を通じた解決策の提案。</li> <li>・探究結果を多言語でまとめ、校内や地域へ共有。</li> </ul>	海外展開を行っている地元企業、JICA、自治体の国際政策課等	社会の諸課題を自分事として捉え、異なる背景を持つ他者と協力して解決の糸口を探ろうとする生徒
3年	キャリア分析と将来設計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望業界の課題と自分の適性を照らし合わせ、強みを体系化。</li> <li>・模擬面接や発表で伝える力を磨き、卒業後の具体的プランを策定。</li> </ul>	地元企業・ハローワーク、外部専門講師等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のニーズを理解し、自らの意志で進路を選択・決定できる生徒</li> <li>・組織の一員として、周囲と協調しながら誠実に役割を果たせる生徒</li> </ul>